



中央本部・角田執行委員長

建交労第23回定期大会は、8月28日・29日(土・日)にオンラインを併用して群馬県安中市で開催しました。冒頭にて中央執行委員会を代表して角田執行委員長からあ

建交労第23回定期大会開催

建交労第23回定期大会は、8月28日・29日(土・日)にオンライン

いさつがあり、「新型コロナウイルス感染症の拡大の中で、菅政権の強権と無策ぶり

が誰の目からも明らかに

なった1年でした。」と述

べ「菅自公政権の誤りが明らかにになった新自由主

義を乗り越え未来を切り拓こうと呼びかけ、そのために組織の強化、実利獲得、総選挙で悪政を変えろという3つの課題に奮闘しよう」と表明しました。その後、廣瀬書記長から第1号議案・2021年度方針案、経過報告、秋季年末闘争の提案、第2号議案・一般会計報告・共済会計報告、3号議案・2021年度予算案、第4号議案・スト権を含むその他の案件承認の提案があり、休憩後に

代議員・特別代議員の討論に入りました。初日は、建交労大阪府本部を代表して鷹巣副委員長が討論に参加し、「2021年度春闘での組織拡大・組織強化、大陽液送・大田貨物班の争議とワクチン接種によって副反応が出た場合に会社に対して特別休暇を3日間付与する方針が必要、厚生労働省には、ワクチン接種で副反応が出たすべての国民保険を含む保健加入者に初日から傷病手当を1



大阪府本部・鷹巣副委員長

00%支給させる。要請行動が必要ですよ」という報告と方針を補強する発言でした。また、関西支部・本多委員長からは「関西支部の業種別運動の取り組みと海コンの組織拡大宣伝、生コン労働者の処遇改善」について発言されました。その他、大阪から関西支部・杉本執行委員からは「生コン日雇い労働者の労働条件の引き上げ、正規社員の賃金モデルの確立」についての発言がありました。

建交労第23回定期大会の全体参加者は、リモート参加を含む150名の参加でした。大阪からは、大阪府本部・鷹巣副委員長が特別代議員として、関西支部・本多委員長、杉本執行委員、大阪合同支部・森書記次長が代議員として参加。また、全国建設関連連部会は、大阪合同支部・藤田執行委

員が部会長としてリモートで参加、関西支部・藤川書記長と大阪府本部・



関西支部・杉本執行委員

荻田書記長は中央執行委員として参加しました。



関西支部・本多委員長

第28回全国ダンプ部会・ダンプキャラバン

近畿協議会で要請行動に取り組む

近畿ダンプ協議会(滋賀ダンプ支部・関西ダンプ支部)は、全国ダンプ部会の運動提起に呼応し、今年で28回目のダンプキャラバンを取り組みました。

近畿ダンプ協議会(滋賀ダンプ支部・関西ダンプ支部)は、全国ダンプ部会の運動提起に呼応し、今年で28回目のダンプキャラバンを取り組みました。

7月29日(木)京都府から始まり、翌30日が滋賀県、8月26日(木)に近畿地方整備局・大阪市・ネクスコ西日本関西支社と交渉を行いました。今年もコロナ禍(緊急事態宣言)を理由にオンライン交渉や参加人数を制限されながらの交渉となりました。

趣旨は、ダンプで働く労働者における真の交通安全の実現と後継者・担い手づくりの課題を実践

交通安全運動を取り組む「交通安全団体等」で有ることの意義と、公共工事の現場ごとに元請と組合が交渉し適正単価の改善・過積載の根絶を実現させる確かな道であることとの理解を求める運動に力を注いでいます。

また、「弱肉強食は仕方ない」とする発注者(担当者)の考えに対し、日本の建設業界に求められる改革は、政治家・官僚・業者の癒着構造にメスを入れられる政治家を国会に送り出し、重層下請構造の改革を実践する運動が求められると思います。今年の秋は総選挙の年です政治を国民・労働者が主人公の社会に変えるチャンスを活かす運動に奮闘します。

大阪府本部第23回定期大会

建交労大阪府本部第23回定期大会は、9月12日(日)13時から国労大阪会館大会議室において開催しました。今大会は、大阪府に4度目となる緊急事態宣言が発令・再延長されている中での開催であったため、感染予防対策を行った中で開催しました。大阪府本部第23回定期大会は鷹巣副委員長の開会あいさつで始まり、議長には大阪合同支部・藤田氏、関西支部・神原氏が選出されました。また、大会書記長は小城執行委員、議事運営委員・北山執行委員、此花支部・行平氏、関西ダンプ支部・中川氏、資格審査委員・佐藤執行委員、大阪鉄道本部・植田氏、神田支部・工藤氏が選出され大会が始まりました。そして、大阪府本部執行部を代表して前村執



行委員長から「この1年間、組合員の要求実現を最重要課題とし、そのための保障となる組織拡大・強化・学習会を重点に取り組んできました。」と述べ、さらに「菅政権は、9月3日に自民党総裁選に出馬せず退陣する意向を表明しました。口では国民のいのちを守るコロナ対策と言いながら、現実にはコロナ対策より経済対策を優先し、国民の声を聞かず、いのち暮らしの危機、救えるいのちが救えないと

いう深刻な状況を招いた。コロナ禍でますます格差と貧困が拡大する一方、大企業の内部留保がさらに7兆円も積み増しされる中、財界大企業の要望に沿い、コロナ禍で自己責任論を強要する自公政権を今度の衆議院選挙で審判を下そう！そのためにも選挙に行つて、労働者本位の社会の実現を勝ち取ろう」と呼びかけました。その後荻田書記長から、一般経過報告・2022年度運動方針案・秋季年末闘争の提案、前村委員長(財政担当)から2号議案・2021年度会計決算報告・3号議案・2022年度予算案、植田執行委員から4号議案・第26回大阪府本部委員会の委員選出基準、5号議案・上部団体への派遣、高橋執行委員から第6号議案・2022年度重点要求・課題でのスト権確立が提案されました。休憩後に討論を開始し、関西支部3

名から発言があり、「トラック・生コン部会の1年間の活動報告と免許取得制度の確立、トラック労使セミナーの訴え、21春闘、秋に行われる衆議院選挙について」大阪合同支部からは「衆議院選挙について、南海ウイングバス南部の権利侵害について」関西合同支部からは「組織拡大・強化、春闘アンケートの取り組みと大田貨物班のたたかいの報告」など、いずれも1年間の活動報告と今後の取り組み、権利侵害、衆議院選挙の重要性について発言がありました。討論終了後、休憩を挟んで荻田書記長から「コロナ禍の中でも運動をすすめ、要求実現出来たことが重要である。また、権利侵害ではいずれの支部のたたかいも重要であり、大阪府本部から各支部に支援協力を引き続き要請する。衆議院選挙に

権利侵害ではいずれの支部のたたかいも重要であり、大阪府本部から各支部に支援協力を引き続き要請する。衆議院選挙については、特別決議で提案している。労働者本位の社会実現をめざす重要な選挙です。」と述べ、討論をまとめました。提案されたすべての議案は、圧倒的多数の拍手と賛成で成立しました。大会参加者は、大阪府本部役員12名、特別執行委員1名、代議員18名が参加しました。その他、委任18名でした。



大阪労連第56回定期大会

大阪労連第56回定期大会はコロナ禍のもとオンラインで開催し、「市民と野党の共闘を後押しし、私たちの要求が実現する政治に転換するため」に全力をあげる」などとする2022年度運動方針を決定しました。冒頭のあいさつに菅議長は「菅首相の身勝手な政権投げ出しは、アベ政治に続き、菅政治を支持しないという世論に抗しきれない、独善と楽観の末路」「国民のいのちを蔑ろにする自公政権と維新の会など、これに追隨する政治勢力や政策を続けさせるわけにはいかない。菅首相の退陣でリセットにはならない」と訴えました。事案提案を行った嘉満事務局長は、「コロナ禍

が多くいのちを奪い、労働者・国民の暮らしと雇用を困難に陥れている。強い者だけが報われ、あらゆる分野を市場にゆだねる新自由主義、不

公正な経済運営のもとで社会基盤が脆弱化し、危機対応喪失社会をもたらした」と指摘。「誰もが人間らしく生きることができ、社会へと転換できるのか、せめぎ合いの情勢」と強調し、「選挙で国民のための政治を取り戻そう！政治を変えて生活を改善しよう」と呼びかけました。

「国民のいのちを蔑ろにする自公政権と維新の会など、これに追隨する政治勢力や政策を続けさせるわけにはいかない。菅首相の退陣でリセットにはならない」と訴えました。事案提案を行った嘉満事務局長は、「コロナ禍



た。討論では、建交労大阪府本部・阪口副委員長が発言「21春闘・組織拡大・強化について、新型コロナウイルスに関する方針の補強」を行いました。大阪労連第56回定期大会で役員に立候補していた、前村委員長は、大阪労連共済幹事、荻田書記長は大阪労連幹事に選出されました。

相手への賠償

対人賠償共済 対人賠償共済は、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人に怪我や死亡をさせた場合、賠償金をお支払いします。

対物賠償共済 対物賠償共済は、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人の自動車やバイクを壊した場合、賠償金をお支払いします。

臨時費用特約 臨時費用特約は、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人に怪我や死亡をさせた場合、臨時費用をお支払いします。

対物超過修理費用特約 対物超過修理費用特約は、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人の自動車やバイクを壊した場合、超過修理費用をお支払いします。

個人賠償・対物賠償止む 個人賠償・対物賠償止むは、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人に怪我や死亡をさせた場合、賠償金をお支払いしません。

示談交渉サービス 示談交渉サービスは、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人に怪我や死亡をさせた場合、示談交渉をお手伝いします。

被害者救済費用特約 被害者救済費用特約は、ご家族が自動車やバイクの運転中に、他人に怪我や死亡をさせた場合、被害者救済費用をお支払いします。

入ってよかった! 個人賠償責任共済

132,000円 (1年11歳以上)

9,058,274円 (10歳未満)

44,000円 (10歳未満)

30,800円 (10歳未満)

個人賠償責任共済金 最高1億円

補償内容

共済契約者のご家族も自動的に補償

交通事故賠償共済金 最高10万円

お申込み・掛金払込方法

大阪労連共済

2022年度 個人賠償責任共済 新規加入申込書

氏名	生年月日	性別	年齢	住所	加入区分	掛金	支払方法
自由区							
組合名	共済会名						